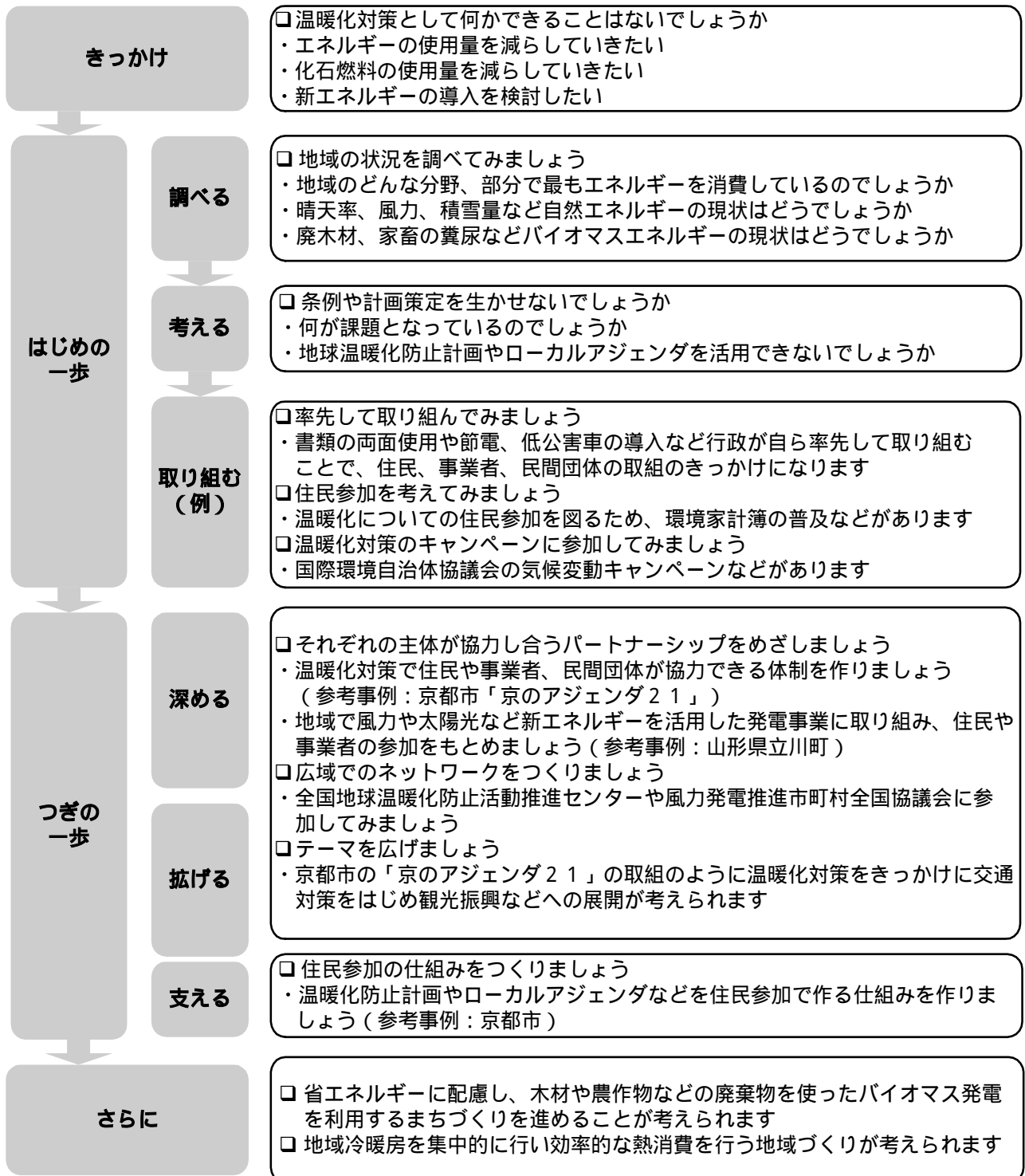
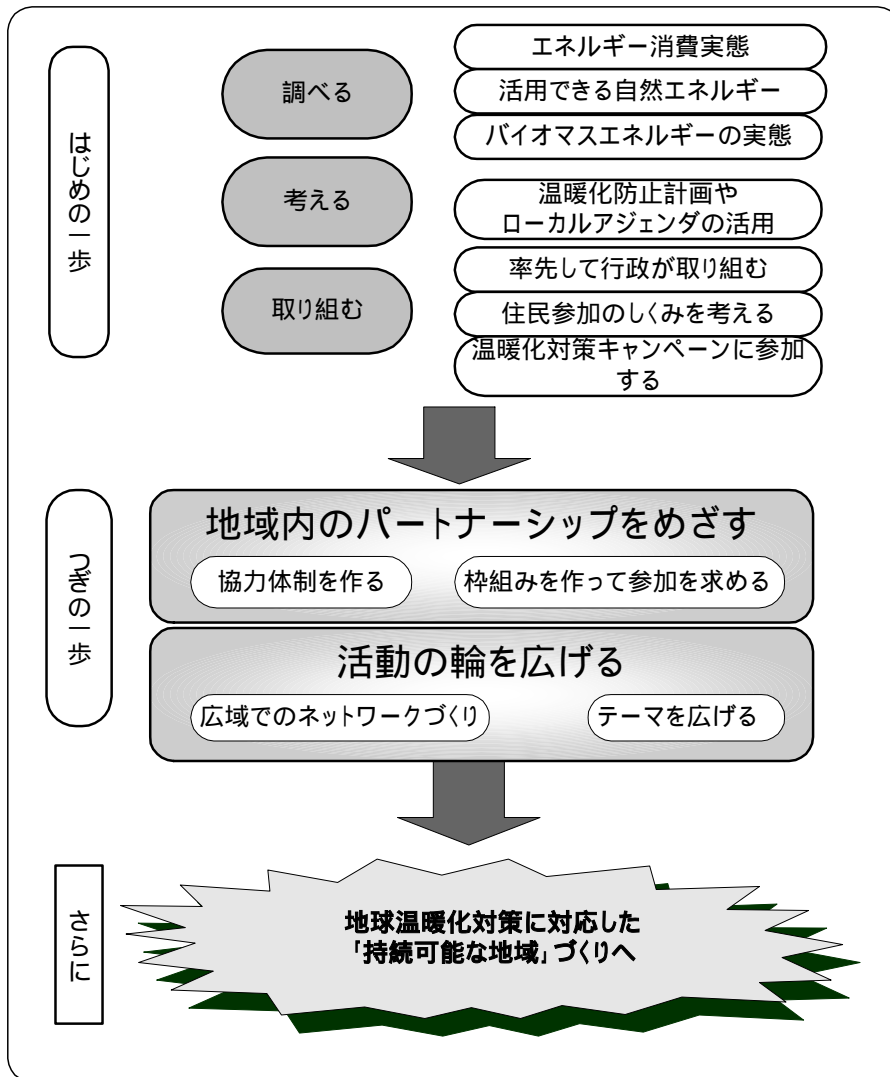


1. 地球温暖化防止・エネルギーに関する「持続可能な地域づくり」
 - 省エネルギーの推進・自然エネルギーの活用による地域づくり -

現在、地球規模で地球温暖化が深刻な問題となっていますが、地域や個人でも何か出来ることはないでしょうか。

ここでは、住民や行政など個々の主体での取り組みからはじまり、地域の自然的な特徴を活用した地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

埼玉県川越市（事例集）

市役所における職員のエレベータ利用自粛などによる節電によって、節約した資金を市民の太陽光パネル購入補助に当てています。

京都府京都市（事例集）

さまざまな立場の人々が意見交換し、協働し合い「持続可能な京都づくり」を目指して活動する場として「京のアジェンダ 21 フォーラム」を設けています。

山形県立川町（事例集）

日本三大悪風とも言われる強風が吹くことを逆にとり、全国に先駆けて風力発電に着手。風車の周辺を風車村として整備し、風車が町おこしのシンボリックな役割も担っています。

全国地球温暖化防止活動推進センター（<http://www.jccca.org/index.html>）

地球温暖化対策に関する普及啓発を行うこと等により地球温暖化防止に寄与する活動の促進を図るために、情報提供や調査研究、広報・啓発事業を行っています。

風力発電推進市町村全国協議会(<http://www.town.tachikawa.yamagata.jp/windome/wind081.html>)

山形県立川町など全国の風力発電を行っている市町村の協議会である。立川町の取組や風力発電の特徴などがホームページに記載されています。

岩手・木質バイオマス研究会（<http://www.angel.ne.jp/~imb/indexa.html>）

民間、行政が参加し、木質バイオマス利用を推進しています。

山形県舟形町（<http://www.town.funagata.yamagata.jp/>）

利雪型穀類調製貯蔵施設を作っています。